

かぎ針

## マイクのがま口ポーチ



バッグの中が楽しくなりそうな、マイクのがま口。  
極太糸を細編みできっちりと編むので、  
しっかりとした仕上がりになります。

デザイン：林久仁子  
撮影：中島紫樹

## マイクのがま口ポーチ

でき上がりのサイズ：  
9.5cm×10.5cm（本体部分）

**使用糸：**

ハマナカ ポニー（50g玉巻）  
白（401）3.5g、黒（402）1.5g、黄緑（495）26g

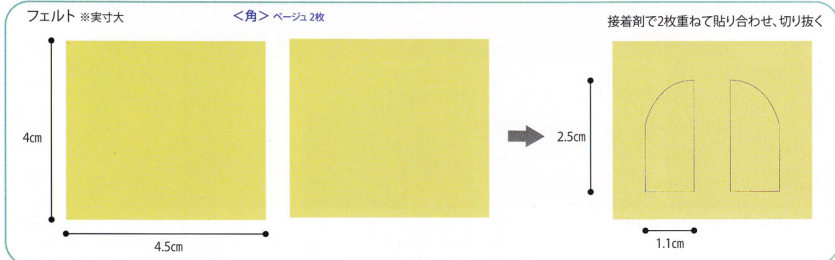
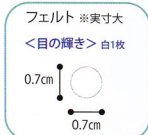
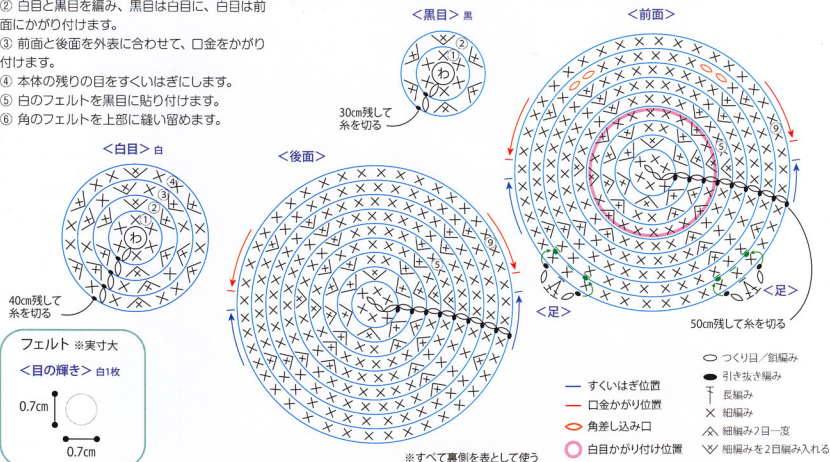
針：7/0号のかぎ針

**その他の材料と道具：**

白のフェルト 適宜、ベージュのフェルト 適宜、  
縫い針と糸、中細タイプの黄緑の糸、8.5cm  
のがま口の口金、手芸用接着剤

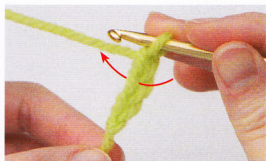
### ポイント

- ① 本体の前面と後面を編みます。前面には①を編み付けます。
- ② 白目と黒目を編み、黒目は白目に、白目は前面にかがり付けます。
- ③ 前面と後面を外表に含ませて、口金をかがり付けます。
- ④ 本体の残りの目をすくいはぎにします。
- ⑤ 白のフェルトを黒目に貼り付けます。
- ⑥ 角のフェルトを上部に縫い留めます。

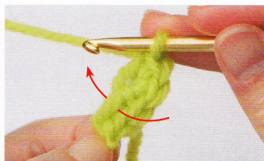


## つくり方

## \* 本体を編みます



1 前は黄緑の糸でつくり目の鎖2目と立ち上がりの鎖1目を編み、針先から2目めの半目と裏山の2本に針を入れて、細編みを編みます。



2 次の目に細編みを3目編みます。編み地を回転させ、つくり目の残った1本の糸を拾って、次の目に細編みを2目編みます。



3 最初の細編みに引き抜き、1段めが編めました。



4 2段めは細編みを2目ずつ編んで、増し目をします。以降、記号図にしたがって増し目をしながら7段めまで編みます。



5 8段めは細編みを8目編んだら、鎖を2目編みます。



6 2目とばして、次の目に細編みを編みます。角の差し込み口ができました。細編みを5目編んでから、もうひとつ差し込み口をつくります。



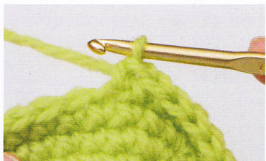
7 9段めは細編みを1目ずつ編みます。角の差し込み口の鎖2目は、裏に針を入れて拾います。



8 鎖2目に細編みが2目編めました。



9 足付け位置では、手前の糸1本だけ拾って細編みのすじ編みにします。



10 細編みのすじ編みが1目編めました。同様にあと2目ずつ編みを編みます。



11 最後は最初の細編みに引き抜き、50cmくらい残して糸を切ります。足付け位置、すくいほきの端、口金付け位置に糸印を付けておきます。



12 表側を見て、足付け位置の1目めのすじ編みの残った1本を拾って糸を付け、鎖を1目編みます。





13 次の目もすじ編みの残った1本を拾って長編みを2目編み、鎖を1目編みます。



14 次の目の残った1本に引き抜き、もう1回針にかかっている輪に糸を通して切ります。足がひとつ編めました。同様にもう片方も足を編みます。



15 前面が編めました。後面は角の差し込み口と足を編まずに編み、すくいはぎの端、口金付け位置に糸印を付けておきます。

\* 目を編み、口金を付けて仕上げます



1 白の糸で白目、黒の糸で黒目を編み、白目は40cm、黒目は30cm残して糸を切ります。



2 それぞれ残した糸の撚りをほじめて、割糸(2本どり)にします。白目の中央に黒目を重ねて、黒の割糸でかがり付けます。



3 白目を前面の付け位置に、白の割糸でかがり付けます。



4 目が付きました。



5 前面と後面を外表に合わせ、口金をかがり位置にセットします。黄緑の中細糸で、最終段の目の足をすくって返し縫いで付けます。



6 前面と後面のすくいはぎの位置を合わせ、最終段の目の頭のすく下をすくってはずします。



7 口金が付き、前後面がつながりました。



8 目の輝きのフェルトを、黒目の左上に接着剤で貼り付けます。



9 角のフェルトを角差し込み口に1cmくらい差し込み、縫い針と糸で縫い留めます。

